

河川の連携・地域をつなぐ明日への水 思川開発

思川だより

独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

本年も宜しくお願いいたします

☆ 新年のご挨拶

日頃より、思川開発事業についてご理解、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

思川開発事業は、地元関係者の皆様、鹿沼市、栃木県などの関係の皆様のご協力を得て、県道の付替工事や工事用道路等の準備工事も進捗し、ダム本体工事や導水路工事の着手を目前に控えておりましたが、ご存知のとおり、ダム事業の検証の対象となり、現在は付替県道工事の一部のみを実施している状況にあります。

その付替県道については、橋梁の上部工工事を実施中であり、これが完成しますと、現県道から杓子沢を経てダムサイトまでの道路がつながることとなります。地域の皆様には工事に際しまして様々な形でご協力をいただきありがとうございました。今後とも皆様にご迷惑をお掛けしないように万全の体制で工事を進めてまいります。

いわゆる「ダム検証」につきましては、関東地方整備局と連携してこれまでに3回の幹事会を行い、進捗を図ってまいりました。今後もできるだけ早く「ダム検証」の結論が得られますように一層努力してまいります。



福寿草



節分草

私たち思川開発建設所職員一同は、この「思川だより」を始めとしてさまざまな機会を通じて地域の皆様方への情報発信に努めるとともに、皆様方のご意見を伺い、少しでもそのお役に立てるよう、今年も精一杯頑張っております。引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
(所長：桜井)



工事の実施状況

県道上久我郡賀栃木線の付替県道工事は、現在、7号橋上部工工事を実施しています。

思川だよりの前号でも紹介した7号橋は、橋長が49mの単純RC床板非合成箱桁橋という鋼材で作る橋です。1月上旬に橋の基本となる鋼板を溶接やボルトでつなぎ合わせた橋桁部分が完成し、実際に設計図どおりできているかどうか、地上で組み立ててみる検査（仮組検査）を行いました。陸に横たわる橋というのは、なかなか見られない姿ですね。



現地で橋の姿が見えるようになるのは、3月頃になる予定です。その後、道路橋としての機能を備えるための工事を行って7月頃完成する予定です。

工事期間中の公道通行時のマナー等については、機構職員はもとより、工事関係者まで周知するよう指導を行っていきたいと考えていますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

人 事 異 動

平成24年10月 1日付け	転出	工事課長	横尾 美昭（川上ダム建設所）
		総務課	大岩 宏治（本社）
	転入	工事課	森原 直紀（朝倉総合事業所）
		工事課長	富田 尚樹（木曽川水系連絡導水路建設所）
		総務課	畑井 興三（群馬用水管理所）

編集 後記

寒い日が続いていますが、大寒も過ぎ暦では春が近づいています。

今回は「節分草」と「福寿草」の写真を掲載してみました。

どちらも、これから可憐な姿を見せてくれる花です。

まだまだ寒さは続きますが、春を心待ちに健康に留意して過ごしましょう。

編集・発行所



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2

Tel (0289)85-1110 Fax (0289)85-1211

<http://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/index.html>